

平成26年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	特定非営利活動法人岡山市子どもセンター（担当者 道仙八代己）			
	合同実施団体 （*協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。）				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	岡山市子ども企画総務課 086-803-1607		課名	岡山市立中央公民館 086- 272-7866
	担当者 2名	職名	次世代育成室室長補佐	職名	主任
		氏名	中吉浩一郎	氏名	重森しおり
事業の名称	自立する子どもを育むための体験活動推進事業				
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>解決を目指した課題 子どもたちの生きる力を育み、自立する子どもを育てるためには、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で効果的な体験活動を提供することが必要不可欠である。 子どもの体験活動の機会の拡充と質の向上を図るためには、子どもたち自身がそれらを魅力的と感じ、また、担い手となる保護者や地域住民が体験活動の意義について具体的に理解することが求められる。また、体験活動プログラムを提供する団体側の課題としては、スタッフの育成、プログラムの改善、情報発信方法の改善、保護者への普及啓発、運営資金の確保などがある。</p> <p>今年度は、幼児を持つ保護者に向けて、その意義や価値をわかりやすく伝わるような体験プログラムを実施し、保護者に親子での体験活動の楽しさや幼児期の体験の重要性を感じてもらうことができた。同時に、幼児期の親子体験プログラムの必要性とそのプログラムの質（内容・方法等）の重要性を再認識することができ、次年度へ検討すべき課題となった。</p> <p>円卓会議では、体験活動を提供している団体が一堂に集まり、円卓会議をとおして体験活動の重要性をわかりやすく可視化するための方策について検討することができた。</p>				

市と協働した内容と協働の効果	<p>1. 団体が果たした役割 様々な分野の体験活動提供団体（13 団体と個人2 名）が一堂に集まり、円卓会議を行うことができた。体験活動提供団体は、これまで一堂に会したことがないので、団体の名前や活動内容について情報交換することができた。情報交換したり、団体の課題を共有することで、課題解決にむけて新たな連携が生まれる兆しが見えた。 子どもの体験や親の意識がその後の子どもの育ちを方向づける。体験活動を提供している団体として、特に学童期以前の幼児親子に対して体験の意義や価値が伝わるようなプログラムを実践した。保護者への意識づけを目的とした体験プログラムには、質の向上が不可欠であることがさらなる課題としてみえてきた。</p> <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割 長年にわたり体験活動を提供してきた実績や調査経験を生かした意見や情報提供があったので、より広い視野で協議検討することができた。 体験プログラムの実施においては、プログラムを体験し、そこから見える課題や評価について議論を深めることができた。円卓会議では、様々な分野の体験活動提供団体が協議・意見交換する中、これまでの実績にもとづき、議論を深めるためのきっかけをつくることができ、様々な視点で会議をすすめることができた。</p> <p>3. 協働した効果 それぞれの実績や立場で意見交換ができ、広い視野で協議検討することができた。 子どもに体験活動を提供している様々な団体が一堂に会し、円卓会議に集うことができた。この円卓会議の場で「体験活動」について、様々な立場で意見交換ができ、体験活動を可視化するための方法について案を作ることができた。</p>																										
事業の内容	<p>円卓会議の実施 第1回 12/9 第2回 1/27 第3回 2/17 会場はすべて、ゆうあいセンター</p> <p>幼児親子の体験プログラムの実施 料理（うどん作り）12/6@岡南公民館 1/10@東公民館 外遊び（たき火）1/11@操山公園里山センター、1/12@福浜南公園</p>																										
事業実施の体制・実施者名	<p>1. 総括責任者 美咲美佐子 2. 個別事業責任者 道仙八代己 3. その他事業従事者 補助スタッフ 三輪陽子、徳田睦美</p>																										
事業実施経過	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/16</td> <td>事業説明と講師の依頼(就実大学)</td> </tr> <tr> <td>11/11</td> <td>第1回打ち合わせ(ESD 推進室)</td> </tr> <tr> <td>11/18</td> <td>事業説明と講師の依頼(中国短期大学)</td> </tr> <tr> <td>11/21</td> <td>第2回打ち合わせ(ESD 推進室)</td> </tr> <tr> <td>~12/2</td> <td>幼児親子の体験プログラム内容の検討</td> </tr> <tr> <td>12/6</td> <td>幼児親子の体験プログラム実施(岡南公民館) 参加者:15 組 33 名</td> </tr> <tr> <td>12/9</td> <td>第1回円卓会議 参加者:27 名 (アドバイザー:村田恵子、土田豊)</td> </tr> <tr> <td>12/12</td> <td>中間評価</td> </tr> <tr> <td>12/24</td> <td>体験プログラム実施について、講師(土田先生)との打ち合わせ (中国短期大学)</td> </tr> <tr> <td>1/10</td> <td>幼児親子の体験プログラム実施(東公民館) 参加者:7 組 14 名</td> </tr> <tr> <td>1/11</td> <td>幼児親子の体験プログラム実施(操山公園里山センター) 参加者:6 組 17 名 講師:土田豊</td> </tr> <tr> <td>1/12</td> <td>幼児親子の体験プログラム実施(福浜南公園) 参加者:10 組 22 名</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	実施内容	9/16	事業説明と講師の依頼(就実大学)	11/11	第1回打ち合わせ(ESD 推進室)	11/18	事業説明と講師の依頼(中国短期大学)	11/21	第2回打ち合わせ(ESD 推進室)	~12/2	幼児親子の体験プログラム内容の検討	12/6	幼児親子の体験プログラム実施(岡南公民館) 参加者:15 組 33 名	12/9	第1回円卓会議 参加者:27 名 (アドバイザー:村田恵子、土田豊)	12/12	中間評価	12/24	体験プログラム実施について、講師(土田先生)との打ち合わせ (中国短期大学)	1/10	幼児親子の体験プログラム実施(東公民館) 参加者:7 組 14 名	1/11	幼児親子の体験プログラム実施(操山公園里山センター) 参加者:6 組 17 名 講師:土田豊	1/12	幼児親子の体験プログラム実施(福浜南公園) 参加者:10 組 22 名
月 日	実施内容																										
9/16	事業説明と講師の依頼(就実大学)																										
11/11	第1回打ち合わせ(ESD 推進室)																										
11/18	事業説明と講師の依頼(中国短期大学)																										
11/21	第2回打ち合わせ(ESD 推進室)																										
~12/2	幼児親子の体験プログラム内容の検討																										
12/6	幼児親子の体験プログラム実施(岡南公民館) 参加者:15 組 33 名																										
12/9	第1回円卓会議 参加者:27 名 (アドバイザー:村田恵子、土田豊)																										
12/12	中間評価																										
12/24	体験プログラム実施について、講師(土田先生)との打ち合わせ (中国短期大学)																										
1/10	幼児親子の体験プログラム実施(東公民館) 参加者:7 組 14 名																										
1/11	幼児親子の体験プログラム実施(操山公園里山センター) 参加者:6 組 17 名 講師:土田豊																										
1/12	幼児親子の体験プログラム実施(福浜南公園) 参加者:10 組 22 名																										

		講師:土田豊	
	1/13	打ち合わせ(ESD 推進室)	
	1/27	第2回円卓会議(ゆうあいセンター) 参加者:23名	
	2/17	第3回円卓会議(ゆうあいセンター) 参加者:21名	
	2/25	まとめ(ESD 推進室)	
	3/10	まとめ(ESD 推進室)	
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割	
	岡山っ子育て局子ども企画総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり市民(特に子ども)に体験活動を提供してきた実績と体験活動に関する調査をした経験を生かし、体験活動について意義や価値を共に考え、プログラムやプログラムの実施について検討する 	
	岡山市立公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動提供団体としての豊富な経験をもとに価値や意義について考える ・経験円卓会議におけるファシリテーター 	
本事業を踏まえた、翌年度以後の予定	<p> <input checked="" type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input type="checkbox"/> その他 () </p> <p> 具体的な計画があれば記載してください。 H26年度に円卓会議に参加したメンバーで、引き続き円卓会議を行い、体験活動の意義、価値について可視化を検討していきたいと考えています。 </p>		

平成26年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	自立する子どもを育むための体験活動推進事業
------------	-----------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	140,148	
	その他		
自己資金等合計(a)		140,148	
事業収入	参加費@500×36	18,000	@500×36
事業収入合計(b)		18,000	
その他収入			
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		630,000	
収入合計(e)=(a)+(b)+(c)+(d)		788,148	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	講師謝金アドバイザー	100,000	事業アドバイザー@50,000×2人×1回
	講師謝金	30,000	講座講師@15,000×1人×2回
	印刷製本費	30,794	円卓会議資料代
	使用料	5,888	会場使用料
	消耗品費	5,019	プログラム実施参加者募集チラシ用紙代
	〃	7,366	学習会コピー用紙
	〃	21,809	プログラム実施材料代
事業実施経費合計(f)		200,876	
管理運営経費	人件費(事務局)	489,600	事務局@850×8H×8日×9ヶ月(7~3月)
	人件費(補助スタッフ)	60,000	補助スタッフ@5000×2人×5回 〃 @5000×1人×2回
	人件費(ボランティア)	27,000	ボランティアスタッフ@3000×3人×2回 〃 @3000×3人×1回
	消耗品費	3,885	コピー用紙、ファイル代
	通信費	4,100	切手@82×50枚
	食糧費	2,687	会議用お茶等
管理運営費合計(g)		587,272	
総事業費(h)=(f)+(g)		788,148	

- (添付書類) 1. 領収書等支払を証する資料は費目ごとに分けて写しを添付してください。
2. 高額となる経費については、印刷した現物や証拠写真などを添付してください。